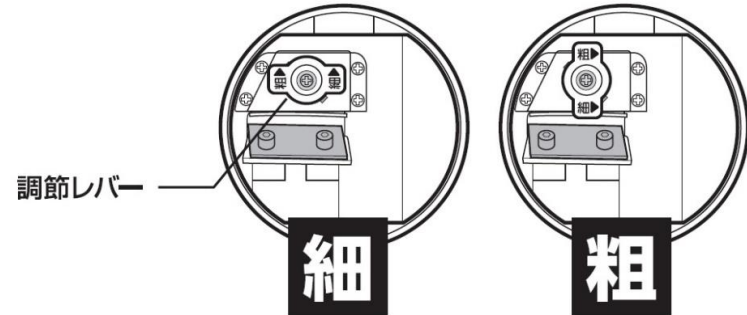
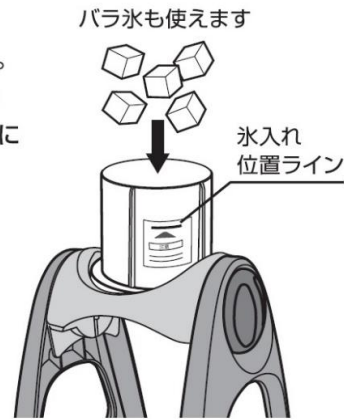


## ご使用方法

1. 本品を組み立てて、安定した場所に置きます。
2. 氷ケース裏の刃の高さ調節レバーを回して、刃の高さ(粗・細)をセットします。



3. 氷ケースに氷を入れます。
  - 付属の製氷カップの氷をお使いください。
  - 冷凍庫の製氷器で作るバラ氷を使用する場合は氷入れ位置ラインを超えないように入れてください。ラインを超えると電源が入りません。



### ⚠️ ご注意

- 氷を製氷カップから取り出すとき、たたきつけたりしないでください。破損の恐れがあります。(氷を取り出すときは製氷カップ裏側から水をかけると取り出しやすくなります。)
- 市販のロックアイスは使用しないでください。氷が硬いため、刃が欠ける原因になります。

6

## 氷の作り方

- 付属の製氷カップに水を8分目ぐらい入れて蓋をしっかりと閉めたのち、水平に冷凍庫で製氷してください。
- 製氷カップいっぱいに入れた水を入れて冷凍すると、製氷カップがふくれたり、破損したり、カップの蓋が飛んだりすることがありますので水量にご注意ください。

4. 本体を氷ケースにかぶせ、電源プラグをコンセントに差し込みます。
  - 氷ケースに入れた氷の厚み分、本体は浮き上がります。
  - 電源プラグをコンセントにしっかり差し込みます。



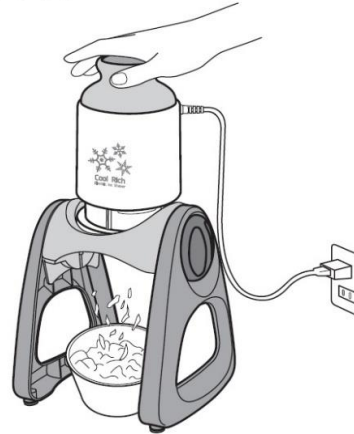
### ⚠️ ご注意

- 本体を氷ケースにかぶせる際、無理に押し込まないでください。抜けなくなる場合があります。

5. スイッチボタンを手で押しながら氷を削ります。
  - スイッチボタンを押すと氷押さえ部が回転して氷を削ります。
  - スイッチボタンから手を離すと回転が止まります。

### ⚠️ ご注意

- 氷の表面と氷押さえ部がきちんと当たらないと、保護スイッチ機能が解除されず作動しません。
- 強く押すと氷が引っかかりやすくなります。
- バラ氷を使用した場合、製氷カップで作った氷を削った時より粗く削れます。また、本体の揺れも大きくなります。
- 氷の状態により氷と氷押さえ部が空回りすることがあります。その時は、氷ケース内の氷を裏返してください。
- 定格時間(5分)以上連続して使用しないでください。モーターの故障の原因になります。



7

## お願い

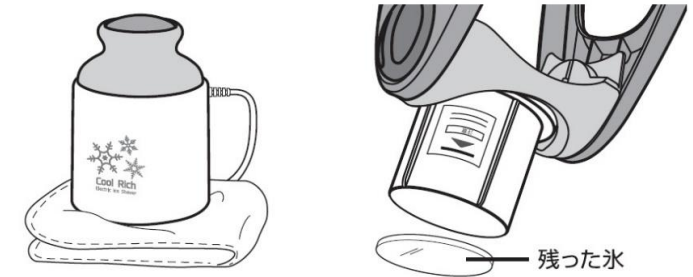
- バラ氷をお使いの時は、途中で止まることがあります。故障ではありません。氷ケースの中でバラ氷が刃に引っかかり、ロックしてしまうことが原因です。ハシ等の細長いものを使い、氷ケースの中でロックされているバラ氷をかき回し、氷の位置を変えたうえでご使用ください。また、刃の高さ(粗)の場合、刃に氷が引っかかりやすくなりますので、その時は(細)に切り替えてご使用ください。
- 決して中に指を入れてバラ氷をかき回さないでください。けがの原因になります。

## 保護スイッチ機能について

- 本体を氷ケースから外してある時や、氷の量が多い時や少なくなった時には、スイッチが入らないよう保護スイッチ機能を設けてあります。無理にスイッチボタンを押したり、たたいたりしないでください。故障の原因になります。

6. 本体を外し、氷ケースの氷を捨てます。

- 構造上、氷ケース内に少量の氷は残ります。続けて氷を削る時は、氷ケースに残っている氷は捨ててください。残ったまま新しい氷を入れると空回りして削れません。
- 使用後は必ず電源プラグを抜いてください。



### ⚠️ ご注意

- 使用後は本体に付着した水が垂れることがありますので、ふきん等の上に置いて水切りをしてください。

8